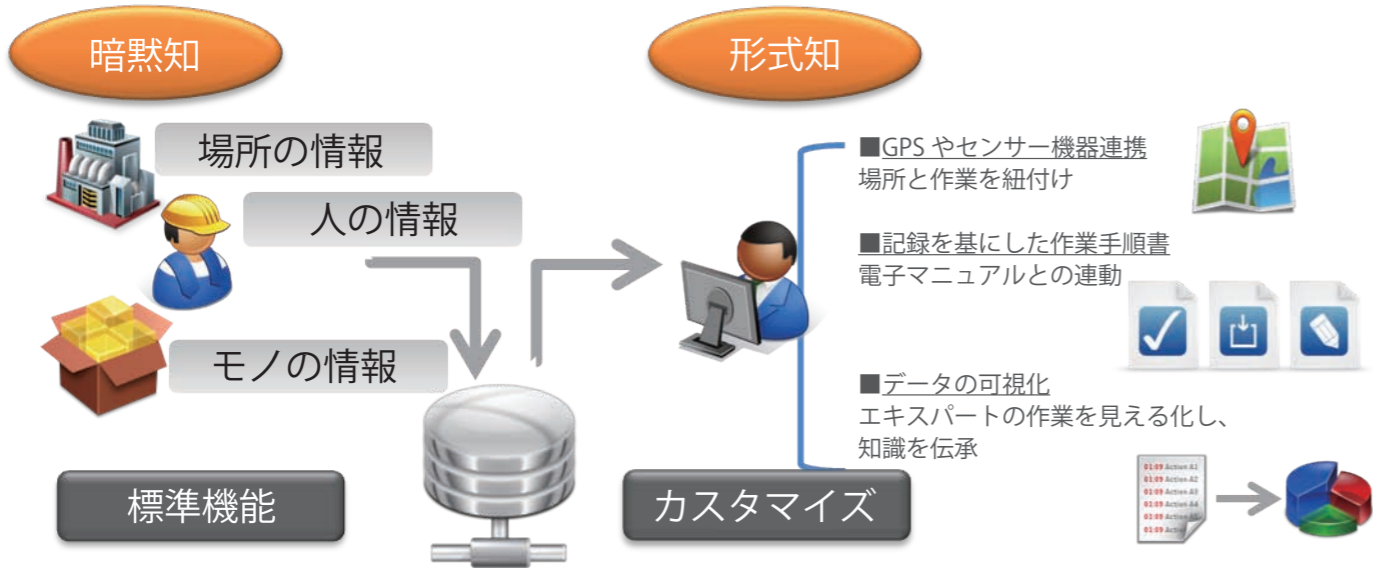


Remote Guideware をカスタマイズすることで、より導入効果の高いアプリケーションを構築いたします。

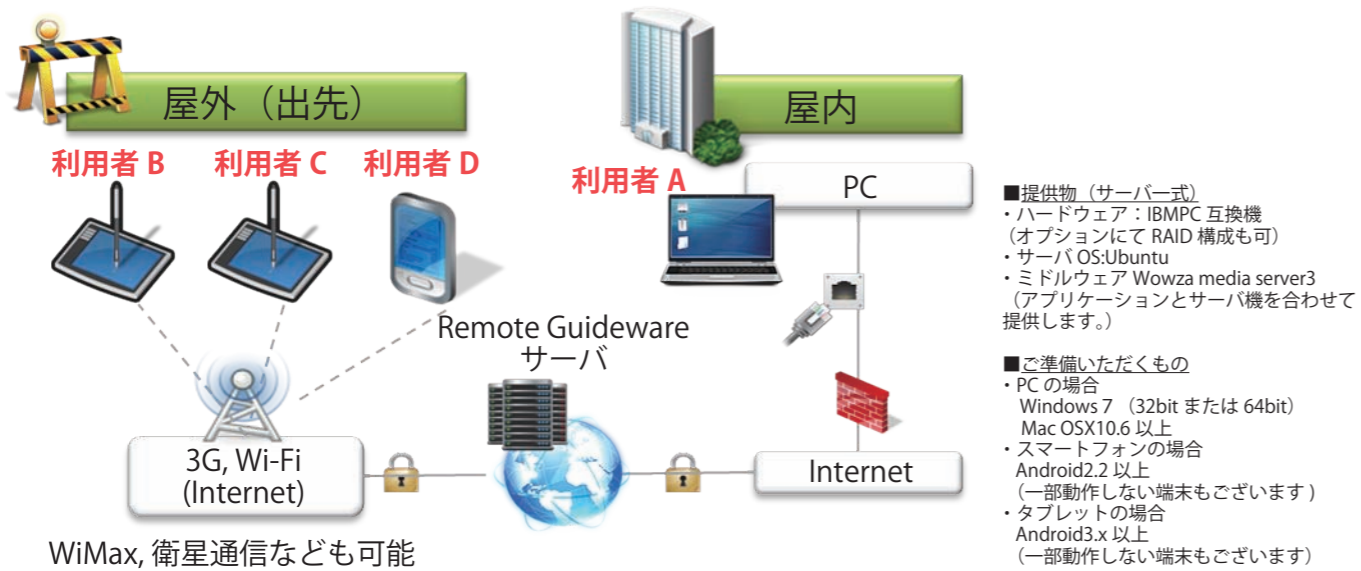


Remote Guideware

タブレット
スマートフォン
正式対応

現場の情報や経験を組織で共有する
コミュニケーション格納ツール

運用環境 (例)



コミュニケーションは様々な組み合わせで、同時に行うことが可能です。
例えば利用者 A と B さん、A と D さんといった組み合わせで、また A, B, C, D さんが同時にコミュニケーションをとることも可能です。

※Guideware (ガイドウェア) は株式会社構造計画研究所と一般社団法人 ALFAE の登録商標です。

※WowzaMediaServer3 は米国 Wowza 社の登録商標です。
※Windows は米国 Microsoft 社の登録商標です。
※OS X は米国 Apple Computer 社の登録商標です。
※同時アクセスできる人数は初期導入段階では制限されます。
※インストールするクライアントソフトウェアの数は制限されません。



現場の目と耳を本部でリアルタイム共有。

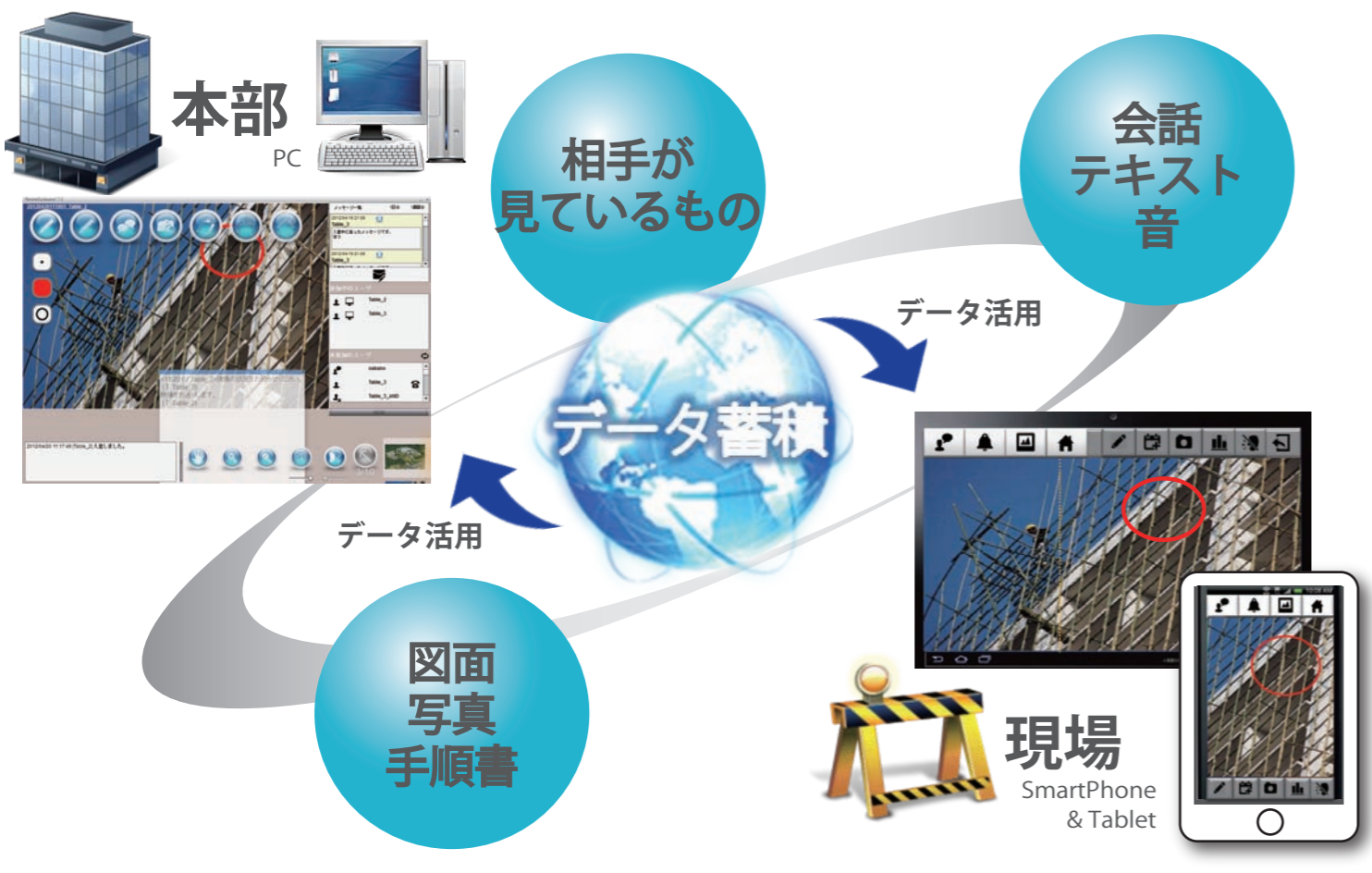
現場に必要な情報を、 必要なタイミングで届けられます。

担当者が経験不足の場合でも確実に

現場の状況を映像と音で確認することで迅速な判断を

情報蓄積で報告業務効率化・トレーサビリティ向上

1. “Remote Guideware” とは？ システムイメージ



2. 利用シーン こんな所でお役に立ってます

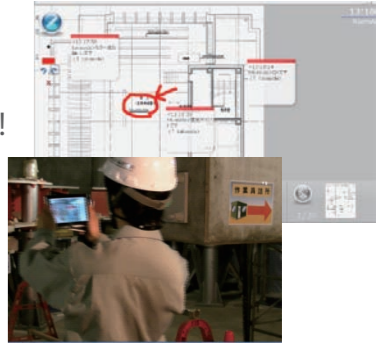
“メンテナンス”の
スピードアップ



事例1 メンテナンス業務への適用

効果・目的

- 従来とは違って、問題を即座に対応。コストダウン、スピードアップに貢献！
- ・ 事故やトラブルを未然防止
- ・ 点検結果をデジタルデータで保存し、過去の記録が必要なきにすぐに引き出し、作業時間を削減



施工現場の技術を伝承し、
若手育成に



事例2 建設施工現場での適用

効果・目的

- ベテランの知恵を有効利用
- ・ エキスパートとのやりとり（いつ・誰が・何を）を逐次保存。
- ・ 匠の技を電子化し、若手技術者の教育へ



災害時の通信
・ 各種支援システムとして



事例3 帰宅困難者や滞留者の受入施設確認

効果・目的

- 3.11 災害時にも利用できたモバイル通信技術！
- ・ 日常的なコミュニケーション手段を緊急時にも有効活用
- ・ 駅周辺での滞留者大量発生を想定し、インターネット通信を主体に区、事業者、商店街等による訓練と検証を実施。



POINT

■ 現場で使いやすい ユーザインターフェイス

わかりやすいアイコンで直感的な操作を実現しました。現場でも迷うことなく操作できます。

■ 複数の現場と同時通話

遠方の多地点にいる複数の人が同時にコミュニケーションできます。

■ タブレット対応

可搬性に優れ、画面も大きいタブレット端末を使うことで、必要なときに必要な場所で映像や図面が閲覧できます。

■ 様々なコミュニケーション手段

映像、静止画、音声、テキスト、図面共有など、状況に応じて様々なコミュニケーション手段を活用できます。

■ データベースに自動で記録

コミュニケーション履歴がDBに蓄積され、記録再生やマニュアルとして活用できます。



Smart Guideware (クラウドサービス・プラットフォーム)

- 無償のクラウドサービス RemoteGuideware の姉妹品です。本ツールは、3.11 東日本大震災の復興支援の目的でリリースされました。引き続き、どなたでも無償にてご利用可能です。



詳細・お申込みは ▶

<http://www4.kke.co.jp/guideware/>